



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久(APIR 研究統括)

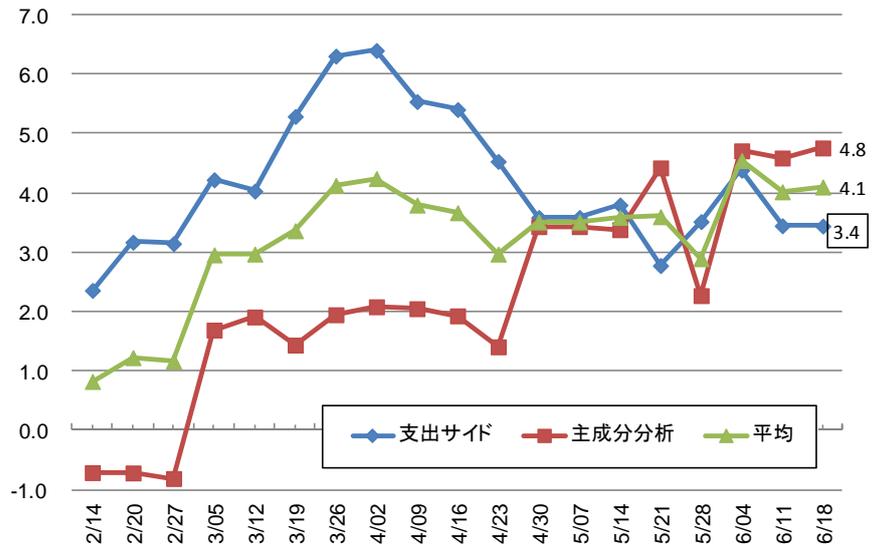
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail:inada-y@apir.or.jp

# 日本経済(週次)予測(2012年6月18日)

## ポイント

- ▶先週は、5月の消費動向調査、国内企業物価指数、輸出入物価指数、4月の消費総合指数、民間機械受注、第3次産業活動指数及び鉱工業生産指数(確報値)が更新された。
- ▶4月の消費総合指数は2ヵ月ぶりの前月比プラス。4-6月期の民間消費にとって幸先よいスタート。この結果、同期の実質民間最終消費支出の予測値は先週から上方修正された。
- ▶4月の民間コア機械受注と資本財出荷指数(確報値)が更新されたので、4-6月期実質民間企業設備の予測値は先週から上方修正された。
- ▶一方、4月の最終需要財在庫指数と5月の輸出入物価指数が更新された結果、4-6月期の実質民間企業在庫品増減と実質純輸出の予測値はいずれも先週から下方修正された。
- ▶今週のCQMは、4-6月期の実質GDP成長率を、内需は引き続き拡大するが純輸出が小幅縮小するため前期比年率+3.4%と予測する。先週の予測(+3.5%)から小幅下方修正。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2012Q2 (%、前期比年率換算)



### <好調な民間消費、4-6月期経済を支える>

先週(6/11-6/15)は、5月の消費動向調査、国内企業物価指数、輸出入物価指数、4月の消費総合指数、民間機械受注、第3次産業活動指数及び鉱工業生産指数(確報値)を更新した。これらのデータは、民間最終消費支出、(実質)民間企業設備、政府最終消費支出、(実質)純輸出の予測値に影響を及ぼす。

民間最終消費支出とほぼ同じ方法で推計されている消費総合指数は4月に前月比+0.5%上昇し2ヵ月ぶりのプラスとなった。4月の値は1-3月期平均よりも0.5%高く4-6月期の民間消費支出にとっては幸先よいスタートといえよう。この結果、4-6月期実質民間最終消費支出の予測値は先週から上方修正された。

今後半年間の消費者の意識を示す消費者態度指数は5月に前月比0.7ポイント上昇し40.7となった。4月は1年ぶりに悪化したが、5月は再び改善した。これは5月の民間消費見通しにとっては良いデータである。

4月の民間コア機械受注と資本財出荷指数(確報値)が更新されたので、4-6月期実質民間企業設備の予測値は先週から上方修正された。一方、4月の最終需要財在庫指数と5月の輸出入物価指数が更新された結果、4-6月期実質民間企業在庫品増減と実質純輸出の予測値はいずれも下方修正された。

今週(6/18)のCQM(支出サイド)は、先週発表されたデータを更新した結果、4-6月期の実質GDP成長率を、内需は引き続き拡大するが純輸出が小幅縮小するため前期比年率+3.4%と予測する。先週の予測(+3.5%)から小幅下方修正された。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。  
 ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。  
 ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6441-0550